

昭和十三年二月 第三十四號

國民精神文化月報

昭和十三年二月五日印刷
東京市品川區上大崎長者九二八四

國民精神文化研究所

代表者 関屋 誠吉

東京市臺東區鶯谷二丁目二七一二

印刷所 合資光文社
印刷者 山下謙之助

國民精神文化研究所彙報

復古思想と寛政異學の禁
昭和十三年一月十日發行

渡邊 年應

- 一、國民精神文化研究所日誌
○昭和十二年十二月九日
- 國民精神文化研究所助手筒井清彦國民精神文化研究所員に任せらる

- 本所職員陸軍歩兵少尉白石春男豫ねて應召出征中のところ南京光華門の戰闘に於いて戰死す

- 同 十二月十一日

- 國民精神文化研究所員久松潛一願に依り所員を免ぜられ國文學研究を囑託せらる

- 同 十二月十五日

- 國民精神文化研究所員筒井清彦願に依り所員を免ぜらる（昭和十三年一月二十一日付を以て滿洲國建國大學助教授に任せらる）

- 同 十二月二十二日

- 國民精神文化研究所員筒井清彦願に依り所員を免ぜらる（昭和十三年一月二十一日付を以て滿洲國建國大學助教授に任せらる）

- 二、國民精神文化研究所研究部記事

- 全體研究會報告

- 昭和十二年十二月二十四日 伊太利に於ける教育改革 渡邊助手

- 昭和十三年一月十四日 御誓文譜解 井上所員

- 同 一月二十一日 日本文學に於ける「ことわり」と情 久松囑託

- 編輯係報告

- 昭和十二年十二月十一日發行 国民精神文化研究所第三十冊（第五年第三冊）

- 私有財產制度の研究 河村 只雄

- 同 日發行 國民精神文化研究所第三十冊（第五年第三冊）